

# 第119日

1 ヨクシツで一日のつかれをいやす。

  
  

2 オーストラリアのナイリクには砂漠がある。

  
  

3 自転車のシャリンがはずれる。

  
  

4 銀行の預金に利息がつく。

  
  

5 不要になったものを再生して利用する。

  
  

6 身体検査で体重を量る。

  
  

7 重量打線がホームランをレンパツする。

  
  

8 母は事故の知らせを聞いて失神した。

  
  

9 このところフジユンな天候がつづく。

  
  

10 人の性格は多種多様です。

  
  

意味

ア ものがごとが順調でないこと。

イ まじりものがあって、じゅんすいでないこと。

ウ いろいろさまざまなこと。

エ 気をうしなうこと。

オ つづけて起こること(打ち出すこと)。

# 第120日

1 五月のレンキュウに旅行に行く。

  
  

2 机の上のシヨルイを整理する。

  
  

3 展示品のモクロクを見る。

  
  

4 老年にさしかかっても父の気力はおとろえない。

  
  

5 板前さんの包丁さばきに感心する。

  
  

6 寒さのため、川が結氷する。

  
  

7 四年生ともなればフンベツのつく年ごろです。

  
  

8 おだちん目的でおつかいに行くのは本末転倒です。

  
  

9 「うそも方便」というが、きみのうそは見えてすいている。

  
  

10 シンロウが重なって、病にたおれる。

  
  

## 意味

ア あれこれ心をいためること。

イ その場に合わせる方法・手だて。

ウ 根本となる大切なことと、どうでもいいさまつなこと。

エ ものごとのよしあしをわきまえること。

オ 種類によって分けること。